

伊丹市長 藤原 保幸 様

## 市立伊丹病院と近畿中央病院の 存続と充実を求める要望書

### 【要望趣旨】

伊丹市が設置した「市立伊丹病院あり方検討委員会」は2月5日、市立伊丹病院は近畿中央病院と統合し、高度急性期医療を担う500から600床規模の阪神北圏域における基幹病院を目指すべきとする「報告書」を市長に提出しました。これを受けて市長は、統合を前提として近畿中央病院（公立学校共済組合）と協議をするとしています。

しかし、2つの病院が1つになれば身近な総合病院がなくなり、ベッド数を現在の約800床から減らせば、市内に必要な入院治療・療養を受けられなくなる事態が広がります。

私たちは、両病院の建て替えにあたっては、統合を前提とした協議ではなく、高齢化社会に向けて必要なベッド数を確保するとともに小児科、産婦人科を充実し、高度な医療も担うことができるように、両病院が存続してさらに連携を強め、地域医療を充実する方向で協議をするべきと考えます。

### 【要望事項】

- 一、市立伊丹病院と近畿中央病院の存続と充実を求めます。
- 一、二つの病院のあり方の協議にあたっては、広く市民の声を聞き、情報を公開することを求めます。

氏 名	住 所

市立伊丹病院と近畿中央病院の存続と充実を求める会

(伊丹市大鹿7丁目99 伊丹民主商工会内 TEL 072-781-1284)

【取扱い団体】 日本共産党伊丹市委員会 (伊丹市千僧6丁目218 TEL 072-779-3256)